



グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部

〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4

朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017

こんにちは、ふれディア通信編集部です。2022年も残すところわずかとなりました。皆さんは良い1年を過ごされたでしょうか？さて、日本には数多くの季節行事がありますが、リクルートの調査によると「慣習に沿って決まった時期に飲食しているもの」の1位は「年越しそば」なんだそうです。アンケートに答えた人のうち、3分の2ほどが年越しそばを食べているという結果になったんだとか。確かに、大みそかに年越しそばを食べるといのは、多くの日本人にとって慣習になっています。クリスマスケーキや恵方巻、土用のウナギなどに比べて、そばは日常的にも広く食べられているため取り入れやすいのかもしれませんがね。ところで、年越しそばはいつ食べていますか？夕ご飯に食べるご家庭もあれば、日付が変わる頃に食べるというご家庭もあるでしょう。中には、昼や朝食食べるという方もいるようです。正解が気になるところですが、実は年越しそばを食べる時間に決まりはなく、好きな時間に食べてよいそうです。「縁起物なので年が変わる前に食べ終えるべき」というのもよく言われることですが、年を越してから「元日そば」や「ついたちそば」という名目でそばを食べる地域もあります。そもそも、年越しそばは由来からしてはっきりしない習慣です。細く長く生きられるようにという説や、そばが切れやすいことからその年の厄を切って落とすという説、金細工師が金粉を集めるのにそば粉を使っていたためお金と縁ができるという説など、様々です。もともとの始まりも、鎌倉時代や室町時代など、諸説あるようです。由来がはっきりしないまま人々の間に根付いているとは、なんだか面白いものです。今では、一部の地域だけの慣習だった「年越しラーメン」や「年明けうどん」なども少しずつ全国に広がっているようで、日本人の懐の深さを感じます。実際に何を食べるかは地域や時代によって変わっても、1年の終わりの日に特別な気持ちで物を食べるという行為に違いはありません。寒さの厳しい日が続きますが、体に気を付けて、元気に年越しそばなどを食べたいものですね。今年も1年大変お世話になりました。1年の最後の月、1日1日を大切に、やり残しがないように元気に過ごしていきましょう。

ふれディア通信編集部



..... ● 幸福の前ぶれ？不幸の予兆？ ● ラッキージンクス & アンラッキージンクス

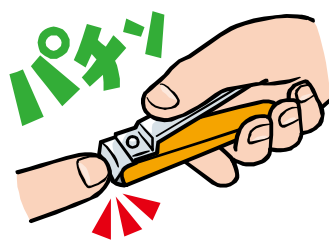
今月のジンクス

「爪にまつわるジンクス」



日本では「夜に爪を切ると縁起が悪い」という昔ながらのジンクスがあります。昔は照明も暗く薄暗い中で爪を切るのは危険でしたから、深爪しないようにするための教訓だったのかもしれませんが。

また、一説には「夜爪」＝「世を詰める」、つまり「寿命を縮める」ともいわれていたようなので、いずれにしてもあまり良いことではありませんでした。実はそんな時、唱えることでジンクスを打ち消す呪文があるのをご存じでしょうか。「夜切る爪は鷹の爪」または「誰の爪切るの？猫の爪。どこに捨てるの？竹やぶ」と3回唱えながら爪を切れればジンクスを打ち消せるそうです。



また、これ以外にも爪にまつわるジンクスといえば、「爪に白い点が現れると幸運のサイン」とか「爪に血豆ができた時は、近々生活に変化が起こる兆し」なんていうものもあります。また、「薬指の爪が早く伸びる人は苦勞人」ともいわれますから、これからは薬指の爪が伸びるスピードに注目してみたら面白いかもしれませんね。

日本や世界には、さまざまなジンクス・迷信・言い伝えがあります。ただし、ジンクスはあくまでもジンクス！アンラッキーなジンクスが起きても科学的な根拠はありませんので、ご安心くださいね。